「小児がん看護ケア」ガイドマップ

基本的知識

- ①小児がんの疫学 ②小児がんの代表的な疾患
- ③小児がん治療 ④検査 ⑤治療中の子どもと家族の看護
- ⑥長期フォローアップ

ガイドライン

- 第1章：信頼関係を築く
- 第2章：病気・治療説明時の子どもと家族への支援
- 第3章：入院生活環境を整える
- 第4章：検査・処置の苦痛の緩和
- 第5章：症状マネジメント
- 第9章：退院に向けた支援
- 第10章：外来治療の支援
- 第11章：長期フォローアップ
- 第13章：多職種協働チームにおける看護師の役割
- 第12章：小児がんに携わる看護師のメンタルヘルス
- 第6章：移植時のケア
- 第7章：再発時のケア
- 第8章：終末期ケア

経過

発症 → 診断～入院 → 入院生活 → 退院、外泊 復園・復学 → 外来通院

- 確定診断検査
- 病名、治療などの説明
- 面会
- 検査・処置
  - ・中心静脈カテーテル挿入
  - ・生検
  - ・骨髄穿刺、腰椎穿刺
- 初回治療
- 骨髄抑制期（繰り返す）
  - ・化学療法
  - ・放射線療法
  - ・手術
- 支持療法
  - ・輸血 ・感染予防 ・水、電解質、栄養
- 初回外泊
- 移植
- 再発
- 終末期
- 外来：維持療法
- 長期フォローアップ
- 晩期合併症

子ども

- 身体的・心理社会的苦痛
- 不安・ショック・混乱
- 治療・処置・検査時の苦痛、痛み
- 子どもと親の病気の認識に関するギャップ
- 自分の体調の変化に気づく
- 自分の容姿が気になる
- 病気のことや学校のことが気になる
- 勉強の遅れに対する不安
- いじめ・差別

きょうだい

- 何が起こっているか知らない、理解出来ない → 説明を受け、病気の子どもの状態を知る
- 不安・孤独感・罪悪感
- きょうだいの心理社会的な問題
- ドナーになるきょうだいの問題

親・家族

- 不安・ショック・混乱・罪悪感
- 苦痛を感じている子どもの対応へのとまどい
- 退院のうれしさと予期不安
- 子どもに病気や今後のことをどう伝えるか迷う
- きょうだいへどのように説明するか迷う
- 外泊中の子どもの管理・対応に不安・困難
- 家族関係の変化に適応する/適応できない

看護師

アセスメント／看護ケアの実際

- 子どもの身体的・心理社会的状態のアセスメント
- 処置・検査時の苦痛緩和
- 症状緩和マネジメント
- 退院調整
- セルフケア支援
- 体調の変化に気づくことができるように声掛けする
- 親の心身の状態を把握
- プレパレーション
- 子ども・家族が症状を理解できるように話し合う
- 子ども・家族と退院後の生活を話し合う
- 相談体制を伝える
- 親の養育方針の把握
- 面会条件設定や環境整備
- 感染予防ケアと教育的かかわり
- 外泊に向けた教育指導・家族関係の変化の予測・親の気持ちを聴く
- 受診のタイミング・方法を伝える
- インフォームド・アセント/コンセント
- 家族やきょうだいへの説明

多職種協働

病棟保育士 学校教員 臨床心理士
薬剤師 管理栄養士 歯科医師
理学療法士 作業療法士
精神科医師 産婦人科医師
医療ソーシャルワーカー
チャイルドライフスペシャリスト
ホスピタルプレイスペシャリスト
ボランティア

学習支援
- ・院内学級との連携
- ・前籍校との連携

（復学時）
- ・前籍校へ連絡
- ・クラスメイトへの説明
- ・調整会議企画

就職、結婚、出産
- ・状況の確認
- ・相談に応じる